

## 「京念珠」認定要件規程

### (目的)

第1条 本規程は、当組合が認定する「京念珠」ブランド商品が、伝統ある京念珠製造技術に基づく高品質、高規格であるための要件を定め、認定を受けた京念珠と同規格・同品質を有する信頼ある製品を市場に提供することを目的とする。

### (地域の限定)

第2条 「京念珠」の認定は、京都市及びその周辺地域において生産された念珠でなければこれをすることが出来ない。

### (製造監修する製造師の資格)

第3条 本規程に定める「京念珠製造師」とは、別に定める京念珠製造師検定規約によるⅡ種1級以上の認定を受けたものとする。

### (総合検査する京念珠司の資格)

第4条 本規程に定める「京念珠司」とは、別に定める京念珠司認定規約による認定を受けた「京念珠司」でなければならない。

### (認定要件)

第5条 「京念珠」認定の要件は次のとおりとする。

#### 1, 原材料

珠 石玉、木玉、実玉、硝子玉、樹脂玉等

上記の原珠を原材料とするが、原材料に応じた耐久性を有し且つ珠数製造に相応しい加工が施されているもので、使用者が安心して使用出来るものを、京念珠司が入念に選別する。

糸 撚り糸、打紐、組紐、ゴム紐等

正絹、人絹、化繊それぞれの特性を生かした柔軟性のある珠数製造にふさわしい品格を備えていること

房 撚房、小田巻等

正絹、人絹、化繊それぞれの特性を生かした柔軟性のある珠数製造にふさわしい品格を備えていること

## 2, 加工

各行程において下記の仕様に則り、京念珠技能士が係わって製造加工されていること。

### 【片手の部】

紐房類 (通し) 打ち紐と呼ばれる組み紐を使用する。珠数に対して最適な素材を選択しまた、珠の大きさ(穴の大きさ)に最適な太さの紐を選択する。

(編み) 程良い張り具合に締めた上で、四つ目編み等の仕立てをしていく。編みの締め具合は、1cmの中に4段程度とする。

撚房類 (通し) 二子の撚り糸を使用する。  
珠材に応じて、糸の材質を使い分けまた、珠の大きさ(穴の大きさ)に合わせて糸の番手を調整する。

(組み) 程良い張り具合に締めた上、たし糸をして四つ組み等の仕立てをして『軸』を作る。組みは程よくこれを締めて1cmの中に4段程度とする。

(房付け) 「糊巻き」仕立てをする。水溶性の糊を使用して、房の裏側に軸の糸を形良く巻いていき、房にふくらみを持たせる。

凡天房類 (通し) 二子の撚り糸を使用する。  
珠材に応じて、糸の材質を使い分け、また、珠の大きさ(穴の大きさ)に合わせて糸の番手を調整する。

(組み) 程良い張り具合に締めた上で、たし糸をして四つ組み等の仕立てをして『軸』を作る。組みの締め具合は、1cmの中に4段程度とする。

(房付け) 組み上げた軸の糸に凡天房用の正絹糸の束を挟み込み、丸く刈り込んでいく。1匁程の凡天房を作るのに、おおよそ4匁の糸を使用する。

小田巻房類 (通し) 二子の撚り糸を使用する。

珠材に応じて、糸の材質を使い分け、また、珠の大きさ（穴の大きさ）に合わせて糸の番手を調整する。

（組み） 程良い張り具合に締めた上で、たし糸をして四つ組み等の仕立てをして『軸』を作る。組みの締め具合は、1 cm の中に 4 段程度とする。

（房付け） 組み上げた軸の糸に球形の芯を通し、それを固定して、その上から撚糸を巻いて作る。

### 【本連の部】

〔房仕立て〕 各宗派により異なる形、仕立て方をするが、基本は〔組み〕と〔菊房〕・〔切房〕・〔撚り房〕・〔ひも房〕等を付ける作業に分けられる。

（通し） 組み糸に弟子玉を通す作業、珠の材質、大きさに合わせて糸の種類を選択し、太さを合わせてこれを撚って珠に通す。

（軸組み） 弟子玉を通した撚り糸を四つ組みにしていく。組みの締め具合は、1 cm の中に 4 段程度とする。弟子玉のある部分の組みを『中組み』という。弟子玉より下部は、足し糸をしてさらに組んでいく。

（房付け）

菊房 組み上げた軸の糸に菊房用の正絹糸の束を挟み込み、丸く刈り込んでいく。1 匁の凡天房を作るのに、約 4 匁の糸を使用する。

切り房 組み上げた軸の糸に切り房用の糸の束を挟み込み、『上げ結び』作業をする。1 5 匁の切房を作るのに、約 1 8 匁の糸を使用する

撚房 組み上げた軸に「糊巻き」仕立てをする。水溶性の糊を使用して、房の裏側に軸の糸を形よく巻いていき、房にふくらみを持たせる

紐房 打紐と呼ばれる組み紐を使用する。他の房仕立て同様に、弟子玉に合わせて紐を選択して通していき、必要に応じて足し紐を行い、結びを入れ、主部の大きさに合わせて紐の長さを調節し切り揃える。

小田巻房 組み上げた軸の糸に球形の芯を通し、それを固定して、その上から撚糸を巻いて作る。

[主玉部]

(通し) 二子の撚り糸を使用する。

珠材に応じて、糸の材質を使い分けまた、珠の大きさ（穴の大きさ）に合わせて糸の番手を調整する。

(検査)

第6条 認定を受けた「京念珠」と同規格、同品質を保持し、「京念珠」として市場に提供できるか否かについて次の通り検査をしなければならない。

- ① 前条の要件を満たしたものであるかどうか。但し、製造工程中に確認されているときは、その確認を以て検査に代えることができる。
- ② 完成品が、認定を受けた「京念珠」と同規格、同品質を保持しているかどうか。

2 前項の検査は、製品の全てについて行うものとする。

3 検査は、京念珠司が行うものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成21年11月6日より施行する。